

目標達成計画

作成日: 平成 22年 3月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	38	○日々のその人らしい暮らし 業務優先にならないように心がけているが、より一人ひとりの希望にあわせた生活支援となるように努めていきたい。	お客様の希望をより多く聞き取り、実現できるような支援をする事によって、より充実した生活が送れるようにする。	業務改善、職員同士のコミュニケーションを深め 業務に掛かる負担を軽減する。 それによって作りだされた時間をお客様の希望の聞き取りや、希望実現につなげられるようにする。	12ヶ月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化や終末期に対応する為に、職員への意識付けや、体制を整えていきたい。	重度化や終末期に対応する為の職員研修の充実や、医療面での体制を整える。	職員研修の実施と、医療面での往診医師の獲得や看護師の体制を整える。	6ヶ月
3	35	○災害対策 災害時の体制や備蓄に不足している。	災害時の定期的な訓練の実施と、必要備蓄の確保。	定期的な訓練と研修の実施。 必要とされる備蓄の算定と確保。	6ヶ月
4	4	○運営推進会議を活かした取り組み ご家族の参加が少数。	より多くのご家族や、近隣の方々へ参加して頂く。	ご家族や地域の方々に運営推進会議への参加を募る案内をする。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。